

目次

I 一人の科学者の生き方

- 1 一人の科学者として生きる特権…………… 3
2 脅威と希望…………… 17

II 科学と文化

- 3 物理学に人間味なんて?…………… 25
4 理科の授業…………… 41
5 芸術と科学…………… 48
6 科学の先端とその限界…………… 73

III 物理学のアイデア

- 7 量子力学とは何か? 103
- 8 何が基本粒子か? 148
- 9 物理学の最先端 182
- 10 宇宙の起源 202

IV 二人の物理学者

- 11 ウォルフガング・パウリ 233
- 12 ウェルナー・ハイゼンベルグ 250

V 科学と社会

- 13 知ること・驚き・世界平和について—インタビュー— 265
- 14 技術という両刃の剣 288
- 15 ヒットラーからの一亡命者の思い 302
- 16 四十年を経て、原爆の一証人の思い 309
- 訳者あとがき 341